

桃

桃もも トウ

10画
一 十 木 杓 杓 桃

なりたち 女のみめ麗しいさまを桃(は)という。桃の意味の桃と木との会意形声字で、みめ麗しい若い娘を連想させる「もも」の実のなる木を表した。



桃



いみじゆく

▼もも。桃源郷：俗世間を離れた、平和で夢のように美しい列世界。ユートピア。(中国の陶淵明(たうへん)の「桃花源記」に描かれた理想郷。ある漁師が山の中で道に迷い、桃のなつた木々の間の川をさかのぼって源まで行くと、平和な別世界があり、何日か暮らして帰ってきた。また行きたいと思つて探してみたら二度と見つけることができなかつたという話。) ミニ知識 桜桃||さくらんぼ。また、さくらんぼのなる桜の木のこと。

桃逃

逃

逃 トウ 逃げる・にがす・のがれる

9画
一 刀 孔 兆 逃

なりたち 逃の意味の兆と刀との会意形声字。身をおどらせてその場からのがれることを表した字。「にげる」こと。



逃

いみじゆく

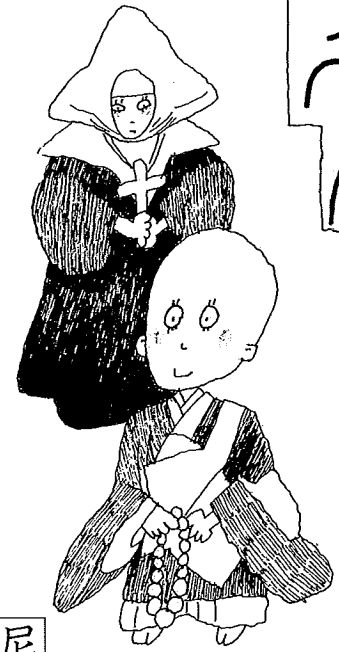
▼のがれる。にげる。逃走：逃げ去ること。急いで逃げ去ること。逃亡：逃げ隠れること。逃げて姿を隠すこと。逃避：のがれ避けること。困難な事を避けてその場から逃げ出すこと。責任を回避すること。逃げ口上：責任のがれの言葉。逃げ腰：逃げ出しそうな態度。また、その格好。食い逃げ：飲食店で代金を払わずに逃げること。夜逃げ：何かの事情でそこに居られなくなって、夜中にそつと逃げ出して列の土地に行くこと。

尼

尼 ニ あま

5画
一 冫 尸 尼

なりたち 人の形を表した尸と匕との会意字で、人がなれ親しむ意味の字。梵語(びん)の音訳である「比丘尼(びくに)」。音訳である「比丘尼(びく)」。音訳である「比丘尼(びく)」の略語として用いられる。



いみじゆく

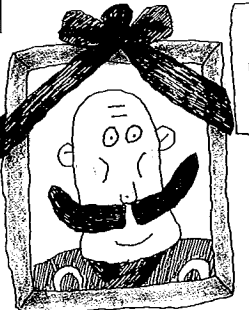
▼あま。尼僧：比丘尼(びく)。出家した女性。あま。尼院：あま寺。尼寺：あまの住む寺。尼公：身分の高い婦人。尼となつた者に対する敬称。修道尼：カトリックの修道院で修行する修道女。比丘尼(びく)：仏門に入った満二十歳以上の女子で所定の戒を受けた者の称。転じて、一般に「尼僧」のことをいう。梵語(びん)の音訳。

死

死 シ しぬ

3画
一 一 夕 夕 死

なりたち 人が倒れた形のと、骨の一部を表した夕との会意字。夕は骨がばらばらになつたことを表し、倒れた人が死んだことを表している。「しぬ」こと。



死

いみじゆく

▼しぬこと。死活：①死ぬことと生きること。②死ぬか生きるか。死生：必ず死ぬという意味から死を覚悟して全力をつくすこと。死にもぐるい。必死：死にものぐるいで守ること。必死になつて守ること。死力：必死の努力。▼役に立たないこと。死語：現代では使われなくなった言葉。死蔵：使わないでむだにしまつておくこと。死文：何の効力もない文章、特に法令。死角：射程距離の中にないが、物にさえぎられて弾丸の届かぬ角度。転じて、見通しのきかない角度。

尼死